



神奈川県

KANAGAWA

神奈川県 河川のモニタリング調査

県民参加型調査第Ⅱ期〔平成24～28年度〕まとめ

神奈川県では、将来にわたり良質な水を安定的に確保するため、平成19年度から「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づき、継続的な水源環境の保全・再生に取り組んでいます。この取組の一環として、環境科学センターでは、毎年、県民の皆さんから調査員を募り、模川水系と酒匂川水系の動植物生息状況や水質の調査を実施しています。

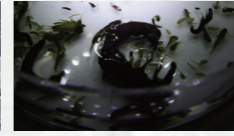
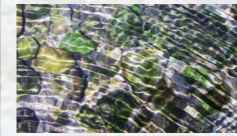
何を調査するの？

水源河川である相模川・酒匂川水系における動植物生息状況調査や水質調査を実施します。



動植物生息状況の調査項目

- 底生動物
- 水辺の鳥類
- 両生類
- 植物
- 魚類



水質等の調査項目

- 川底の感触
- 水のおいしさ
- ゴミの量
- pH
- COD
- 透視度
- 水温

この調査結果を蓄積することにより、水源河川の水質の変化を把握することができます。

過去の調査では、参加者の方から「普段下りる機会のない川に入り、見ることもなかなかできない川の中の小さな生き物を見ることができて、面白かった」という感想もいただきました。

調査の支援について

調査にあたっての事前説明会(6月頃)や採集方法、動植物の同定方法の講習会(6～11月頃にかけて複数回開催)を開催しております。



調査に必要な資機材等は、貸し出しを行っています。また、調査では、専門スタッフも配置しております。

調査実績

第Ⅱ期調査〔平成24～28年度〕では、のべ391名の調査員が参加し、のべ169地点で調査を実施しました。

調査年度	参加人数	のべ調査地点数
平成24年度	84名	16地点
平成25年度	62名	22地点
平成26年度	67名	41地点
平成27年度	81名	43地点
平成28年度	97名	47地点
合計 のべ	391名	169地点

調査は、調査員自ら調査計画を立て、任意の地点で調査を行います。

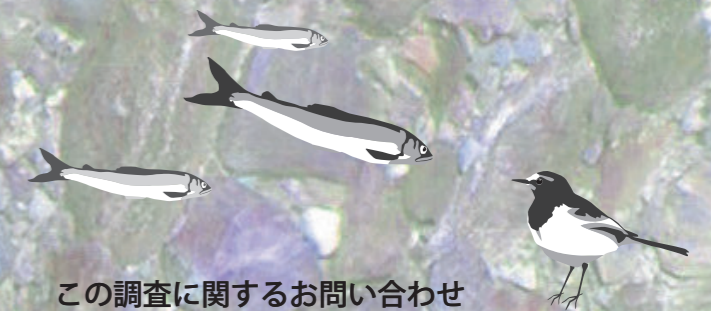


第Ⅲ期 平成29年～平成33年調査について

神奈川県では引き続き平成29年度からの5年間、「第Ⅲ期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、県民の皆様のご協力をいただきながら、動植物や水質等、多様な指標による調査を実施していく予定としています。

調査に参加するには？

参加にあたっては、お申込みが必要です。各年度の4～5月頃に募集を行います。詳しくは、神奈川県環境科学センターHPの募集案内や広報をご覧ください。



この調査に関するお問い合わせ

神奈川県環境科学センター 電話 (0463)-24-3311
〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 1-3-39
<http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/center/contents.html>

県民調査から見えた

水源河川の動植物の生息状況

調査は、神奈川県全域の飲み水の元となる相模川・酒匂川水系において、動植物の生息状況や水質を調べ、河川環境の把握を行っています。

特に、川の中にどんな生き物が住んでいるかを調べると、水のきれいさ、安全性のものさしになります。

あなたの身近な川はどうでしょうか？

県民調査で確認された注目種など



イソシギ **RDB**
河川や湖沼などの水辺で生活するシギの仲間です。水生昆虫の幼虫などを食べます。



キセキレイ **RDB**
平地や低い山地に多く水辺をすみかとするセキレイの仲間です。カゲロウ類・カワゲラ類・トビケラ類を食べます。



セグロセキレイ **RDB**
平地や低い山地の河川周辺にすむセキレイの仲間です。キセキレイと同様、昆虫類を食べます。



モノアラガイ **RL**
河川敷きの湧水がある池や流れが緩やかな岸辺で見られる巻貝の仲間です。



ハグロトンボ **RDB**
開けた河川の流れが緩やかな岸辺でヨシなどの植物につかまって生活するカワトンボの仲間です。



コシボソヤンマ **RDB**
樹林が接した河川に生息するヤンマの仲間です。ミルヤンマよりも下流側を好むようです。



ミルヤンマ **RDB**
樹林に囲まれた河川に生息するヤンマの仲間です。コシボソヤンマよりも上流側を好むようです。



ヤマサナエ **RDB**
流れが緩やかな河川の泥底や植物が茂った岸辺に生息するサナエトンボの仲間です。



コヤマトンボ **RDB**
樹林が接した河川の植物が茂った岸辺で見られます。クモのように長い足が特徴的です。



ヒガシマドジョウ **RDB**
河川中流の流れが緩やかな砂底で生活します。水田にいるドジョウと違って水のきれいな川でのみ見られます。



ホトケドジョウ **RL RDB**
流れが緩やかな小川や水路で見られます。ドジョウよりも見かけが寸胴で水がきれいな場所を好みます。



カジカ **RL RDB**
水が豊富な河川上流の石の下を好みます。ハゼの仲間に似ていますが胸鰭が吸盤状に発達しません。



ツチガエル **RDB**
水田や湿地、河川敷の池などの水辺で生活します。背面に多数のイボ状の突起があることが特徴です。



カワラノギク **RL RDB**
河川中流の砂礫地に生える多年草です。河原に帰化植物が繁茂すると消失してしまいます。



ササバモ **RDB**
湖沼や流れが緩やかな河川に群生する水生植物です。

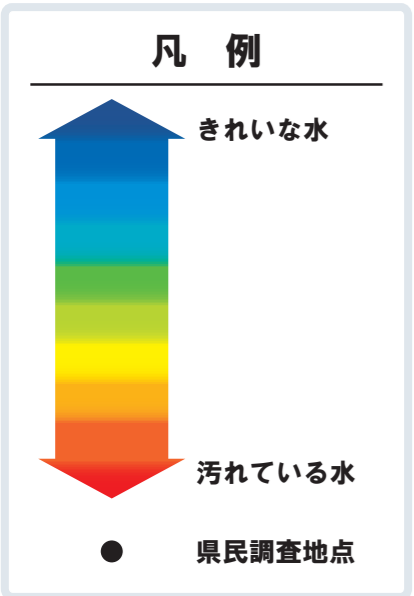
底生動物からみた川の水質 — 第Ⅱ期調査結果から

第Ⅰ期調査との比較

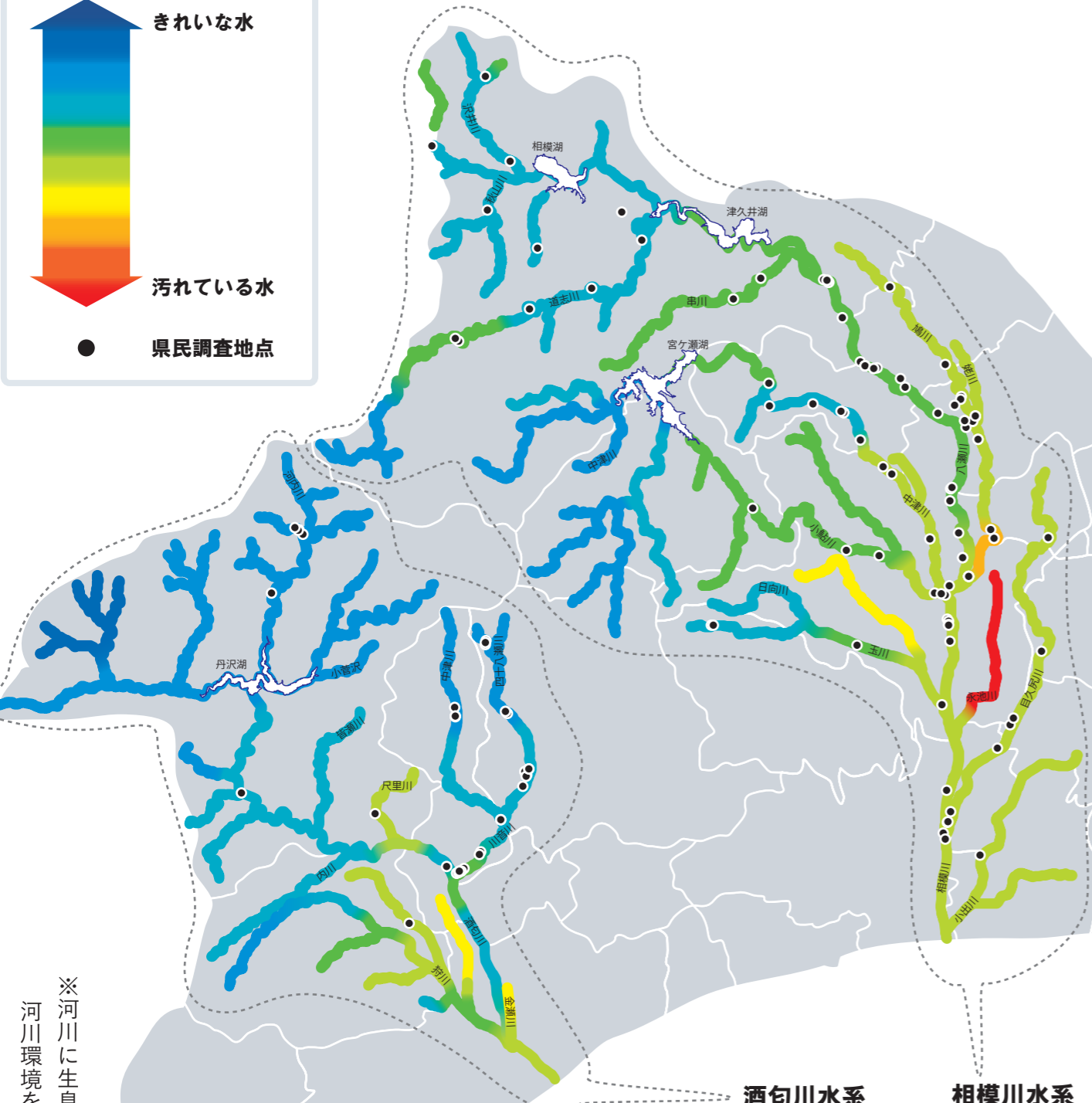
第Ⅱ期の調査の結果、神奈川県の水源となっている相模川および酒匂川の水は、第Ⅰ期(平成19年度〜平成23年度)の調査時と同様に良好な水質を維持しており、とりわけ上流の森林地域ではきわめてきれいなところも確認されました。

ただし、下流の市街地においては、わずかではありますが第Ⅰ期調査時に比べ、水質が悪化した地点も見られたため、現在取り組んでいる河川整備事業等による改善が期待される場所があります。

将来にわたり、良質な水を安定的に利用できるように、今後も水源環境を維持・向上させる取り組みを続けていく必要があります。



※河川に生息する底生動物の種類や個体数などを用いて河川環境を評価したものです。



RL 環境省レッドリスト 2015掲載種

RDB 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006掲載種